



なら仏像館

あすか じだい かまくら じだい にほん
飛鳥時代から鎌倉時代にいたる日本
の仏像を中心に、国宝、重要文化財を
含む常時100体近くの仏像を展示す
る、国内の博物館では、もっとも充実
した仏像の展示施設です。

たてもの 建物について

なら くにたつ ぼくぶつ かん めいじ ねん かい かん
奈良国立博物館は明治28年(1895)に開館しました。なら 仏像館(旧帝国奈良博物館本館)は
かい かん としよ たてもの にほん の こ さいしよ きき はくぶつ かん けん ちく めいじ じ だいち ゆう き せい よう けん ちく だいい よう
開館当初の建物で、日本に残る最初期の博物館建築です。明治時代中期の西洋建築を代表する
ものとして、重要文化財に指定されています。120年以上を経た今もなお、文化財の展示施設
として活用されており、たいへん 貴重です。

ならはく 教育普及スペース「ちえひろば」開館日毎日、ワークショップを開催!

ち か かい ろう
地下回廊にある「ちえひろば」は、仏教美術に親しめる体
験型の空間です。触れるレプリカや仏像ミニクイズを通して、
ぜひ、仏教美術を身近に感じてください。



くわしくは「ならはく教育普及室」ウェブサイトへ!



ごゆるーたる しろぞー あおじし はにわんこ くじゃっぴ
なら くにたつ はくぶつ かん とうしき
奈良国立博物館公式キャラクター
さんまいず

制作：奈良国立博物館 執筆・イラスト：翁みほり、久米彩也加 編集・デザイン：塩山あゆみ、佐藤優菜

ならはく教育普及室
NARAHAKU LEARNING CENTER
https://edu.narahaku.go.jp/



奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM
https://www.narahaku.go.jp/

〒630-8213
奈良市登大路町50番地
TEL: 050-5542-8600
(ハローダイヤル)

仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド

おたちで見分ける!

仏像

ぶつぞう

4つのグループ

如来 菩薩 明王 天



それぞれの特徴、ご存知ですか?

見分け方はカンタン! ページを開いて
チェックポイントを確認してみましょう。



如来の
ポイント

下の2つが当てはまったら、ほとんどが「如来」です。

- 頭のでっぺんがぼこっと盛り上がっていて、たくさんのつぶつぶがある



- 布を身にまとうだけのシンプルなファッションスタイル



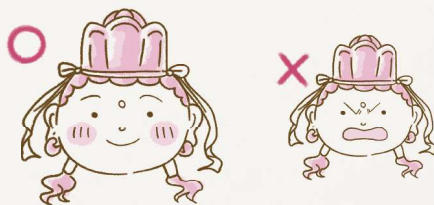
菩薩の
ポイント

下の3つが当てはまったら、ほとんどが「菩薩」です。

- アクセサリーを着けている



- おだやかな表情をしている



- ハスの花にのっている



明王の
ポイント

下の2つが当てはまったら、ほとんどが「明王」です。

- 牙を出して怒っている顔



- うしろに炎が表されている



天の
ポイント

下のどれか1つでも当てはまったら、ほとんどが「天」です。

- よろいを着けている



- 袖口の広い服を着て、くつをはいている



- 上半身は裸で、筋肉もりもり



- 菩薩に似たすがただけど、ハスの花にのっていない



- 丈を短くしたズボンをはいている



- 長い黒髪を両肩あたりでゆったりと丸めたヘアースタイルをしている



- 頭だけ動物のすがた

如来

如来は、苦しみを乗り越えて幸せに暮らすための方法、つまり“仏教”を広めるほとけさま！

あたま

ファッション

アクセサリーを着けずに、体に布を巻きつけるだけのシンプルなファッションをしています。昔のインドのお坊さんのファッションスタイルに由来しています。



知恵がたくさん詰まっているので、頭のとっぺんがぼこつと盛り上がっています。

そして、たくさんつぶつぶは実は髪の毛。長い髪の毛が1本ずつくるくと丸まり、こうした形になっています。



釈迦如来

手のかたち

如来は、いろんな手の形をしています。手の形で如来の種類を見分けられることもあります。

釈迦如来・薬師如来など

この手の形は…



この手の形は…



いろいろな如来

この手の形は…

大日如来



かたちのひみつ

如来のモデルとなったのは、約2500年前にインドで仏教を始めたお釈迦さまです。お釈迦さまは、6年も厳しい修行を積み、やがて人間からほとけさまに変わりました。その姿をもとに、如来の形が生まれました。

かお

菩薩は人びとに寄りそい、さまざまな願いに応えるほとけさま！

菩薩

ファッション

首や腕、手首などにアクセサリーを着けています。また、冠をのせる菩薩もいます。昔のインドの王子の姿がモデルになっているので、豪華なファッションをしています。



おだやかな表情は、菩薩の特徴のひとつ。人びとを優しく見守っています。

いろいろな菩薩

十一面観音菩薩



ハスの花

如来や菩薩などのほとけさまは、ハスの花から生まれると考えられてきました。そのため、菩薩はハスの花にのった姿でよく表されます。

観音菩薩

千手観音菩薩



地藏菩薩



かたちのひみつ

菩薩のモデルもお釈迦さまです。修行を始める前、お釈迦さまはインドの小さな国の王子でした。その姿をモデルに、まず観音菩薩の形がつけられます。その後、人びとの願いにあわせて、さまざまな菩薩が登場しました。

みょうおう
明王

みょうおう わる ひと ただ ほう みちび
明王は、悪いことをする人びとを正しい方へ導いたり、
さまざま あく わざわ う け 悪や災いを打ち消したりするほとけさま！

ぼのお

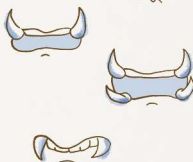
はい ご ぜんしん つつ
背後に全身を包み
こ ほのお あらわ
込むような炎が表
れているのは、明王
とくちよう
の特徴のひとつ。
ほのお まよ
炎には、どんな迷い
なや や つ
や悩みも焼き尽くす
ちから
力があるといわれて
います。



かお

ほとんどの明王が、
きば だ おそ
牙を出した恐ろしい
ひようじよう
表情をしています。
ほとけさまの教えに
おし
したがわれない人びと
ひと
を怒っているのだそ
うです。

きば の だし方
は さまじま



いろいろ みょうおう
な明王

ふ どうみょうおう
不動明王

ぐん だり みょうおう
軍荼利明王



だい い みょうおう
大威徳明王



あい ぜん みょうおう
愛染明王



**かたぢの
ひみつ**

みょうおう
明王は、さまざまな悪や災いを打ち消すことができるほどの、とても
つよ
強いパワーをもっています。強い力をもっていることをあらわ
すため
に、怒った表情をし、燃え盛る炎のオーラをまとうなど、恐ろしい
おこ ひようじよう
姿をしています。

てん
天

てん ぶつきよう せ かい ぶつきよう しん ひと まも
天は、仏教の世界や仏教を信じる人びとを守ったり、
ひと ふく
人びとに福をさずけたりするほとけさま！

ファッションその1
よろい

ほとけさまの せ かい まも 世界を守る
ガードマンの役割を担う
やくわり にな
天もいます。
それらの てん 天は、よろいを
つ すかた じようはんしん
着けた姿か、上半身が
はだか きん にく すがた
裸で筋肉もりもりの姿を
しています。

のっているもの

ハスの花にのって
てん とくちよう
いないのも、天の特徴
てん おに いわ し
です。天は、鬼や岩、敷
きもの、ハスの葉っぱ
は などにのっています。



び しゃ もん てん た もん てん
毘沙門天(多聞天)

ファッションその2
すでぐち ひろ ふく き
袖口の広い服・ズボン・くつ

そでぐち ひろ ふく き
袖口の広い服を着たり、
はかま
ズボン(袴)やくつをはい
たりしているのは てん 天だけ。
こうした服装は、主 ちゆうごく に中国
に ほん 日本 う だ で生み出されま
した。



だい い てん
大黒天

べん さい てん
弁才(財)天



ほかにも...

てん しち ふくじん
天には、七福神のメンバーもいます。
せい べつ てん あたま どうぶつ すかた てん
また、性別がある天や、頭だけが動物の姿の天もいます。

**かたぢの
ひみつ**

てん かつて インドの かみ 神さまで、やがてほとけさまに仲間入り
したグループです。天の てん かたち 形がさまざまなのは、いろいろな かみ 姿の神
さまがいたから、また いろ いろ 色々な国や地域の しん じよう 信仰と結びつき、すがた 姿を
か 変えてきたからです。